第9号 コーセン・はっぴーライフ 倶楽部通信

〔会員の皆様へ〕

気が付けば三月に入り、雪もとうとう降らず、あっという間に春がやって参りましたが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか？

コーセンでは、この度、自社のパンフレットとホームページを作成しました。何回もの話し合いを行い、スタッフ同士あれこれと議論を交わしながら楽しい雰囲気で作りました。詳しい内容については、コーセンは方に掲載しピーニュースのでご覧下さいます。

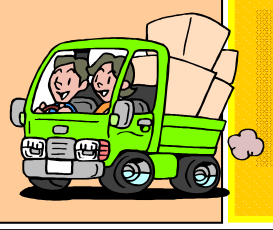
一歩一歩ではありますが着実に「お客様の生涯利益の実現」に向け形となりつつあります。そして、さらにどうすれば多くのお客様の笑顔にお会いすることが出来るのかを考えています。特に今年は、「笑顔の循環」をテーマに、会員の皆様が明るく、そして楽しい毎日をお送りすることができるお手伝いをしていきたいと思います。これからも宜しくお願い致します。

3月の大山

豆知識シリーズ　社名の由来

アートコーポレーション（株）（アート引越しセンター）

昭和43年（1968）アートコーポレーション（アート引越しセンター）の創業者、山本千代乃（現、寺田千代乃）は寺田寿男と結婚。2人は「寺田運輸」を開業しました。時代はまさに高度経済成長期です。その波にも乗って寺田運輸は数ヶ月で16～17名の従業員を抱えるまでに成長、しかし昭和48年（1973）世界は深刻なオイルショックに襲われ運送会社である寺田運輸も大きな打撃を受け仕事のない日が何日も続きました。ある日、目に止まった新聞記事を見て、引越の費用が年々急増していることを知ります。さらに調べると総理府の調査で昭和48年当時1年で100人中6～7人が引越ししていることが分かりました。寺田運輸は、トラックの空き時間を利用して、積極的に引越しの仕事を引き受けるようにしました。さらに寿男と千代乃は今でいうマーケティングリサーチ（市場調査）を行い、お客様が電話帳から運送屋を探していることを知りました。そこで2人は、電話帳の1番前に載ると目立つ「ア」のつく社名にすることにしました。彼女が、趣味で始めたアートフラワーのアートを使うことに決めました。引越しも1つ1つ芸術作品のように大切に扱っていくという意味を込め「アート引越しセンター」と命名し昭和51年（1976）寺田運輸内に引越し部門としてスタートしました。昭和52年（1977）日本で最初に引越し業の認可を受け「アート引越しセンター（株）」として独立。総勢7人での出発でしたが現在では、年間25万件以上をこなす大企業となりました。



今月のトピックス

- 知っていますか？社名の由来
- コーセンはっピーニュース！
- コーセンビフォーアフター
- 絶滅の危機！！鳥取県の野生植物
- ＴＨＥ　ウンチク一石の風水なお話
- ちょっと聞いてごしない！

NEW

コーセンはっピーニュース！

パンフレット＆ホームページ作成しました。

これはコーセンの代名詞とも言える「大山おにさび砂」を紹介するものです。会員の皆様には、一足先にコーセンはっピーライフ通信と一緒にお送りしますので是非じっくりご覧下さい。

そして、ホームページの方も3月12日にオープン致しました！ホームページのアドレスを掲載しておきますのでこちらも是非ご覧下さい。

※まだ製作途中のページがあり見ることが出来ない箇所もあります。

・ホームページアドレス
http://www.co1000.jp

絶滅の恐れのある 鳥取県 野生植物 No.9

絶滅や自然生態系の衰弱を防ぐ為地域の人たちの自然と関わる基本的なルールや技術を深めましょう。

トモエソウ（江府町、日南町）

山地の日当たりの良い湿原周辺草原に生育する大形の夏緑性多年生草本。茎は直立、上部で分枝。黄色が鮮やかで散歩中などに見つけたら立ち止まって見てしまいそうなくらいキレイなお花ですね。

一石の風水なお話

～和室編～

◎床下の気の流れが健康な空間を作ります。畳の部屋は、床下の気の流れと密接に関係しています。畳表のい草や芯になるワラは通気性があり、その為床下の気が部屋の中に流入してきます。また室内の空気が床下に抜けないと、湿気が畳の下に溜まって、畳の中は雑菌の格好のすみかになってしまいます。つまり和室の場合は部屋、床下とも空気の循環がないと、不健康な空間になります。

又、床の間を設ける場合なにか宗教的意味があるように思われますが、文字が示すように昔は貴人の寝床でした。家相上は通常の部屋と見ています。ある年齢以上の人は、床の間を作ることで精神的な安定を得ることがあります。そうした気持ちにさせることも吉相の条件です。

床の間のある部屋を客間として使う場合はどの方位も凶相になることはありません。

◎吉相にするポイント

◎床の間をつくり、花びんや掛け軸などを置いて空間を楽しむようにする。

◎床の間は家の中枢もつかさどりますから、床柱の下に、水晶を埋めるのも、古くから行われてきた「家相改善方法」の一つです。是非お試しを！！

川之端　一石

魚の放流イベント

三月六日、伯耆町の日光小学校で、魚の放流体験会を開催しました。これは、この学校の裏を流れる白水川の下流で、当社が施工中の砂防関連工事（国土交通省発注）を地域の皆様に少しでも理解していただこうとする目的で行うものです。当日、会場の日光小学校を訪れると、先生方や生徒の皆さんがとても大きな声のあいさつで迎えて下さいました。最初にランチルームで砂防や土石流の勉強をした後、山女（ヤマメ）、岩魚（イワナ）を白水川に放流しました。皆さんから、重さはどれくらい？何年生きるの？？山女と岩魚の違うところは？などたくさんの質問があったり、川の中をすばやく泳ぐ魚に感動したりと日光小学校の皆さんには大変喜んでいただきました。そしてこの川の水や自然がいつまでも美しいままであることを願いながら体験会を終了しました。

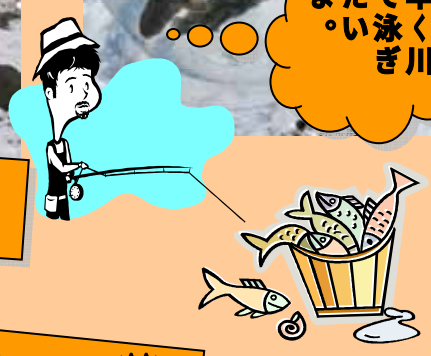
メモリーショット

なんで魚を放流するのか～……

早く持っていかないと！みんな走れ～！！

合図と共にみんな一斉に放流～。

早く泳ぎたい川で。よ



生徒に交じって先生も放流！

元気でね～(^^)

コーセンビフォーアフター

今回のビフォーアフターでは、米子市石井の、斉木様のお墓をご紹介させていただきます。

暖冬と共に年が明け、一月とは思えないほどの暑い日に施工させていただきました今回のおにさび舗装。施工中、お寺の住職様が見学に来られ、「こりゃーえー」と感心したご様子でした。後日、斉木様にお越しいただいて、「見たもんだなー」と感心したご様子でした。目がコンパクトになってこれなら水も通るし草が生える心配もなくよくなった」とお褒めの言葉をいただき、記念写真を撮影致しました。

before

after

社長のひとり言…

3月1日は県内の河川でイワナ、ヤマメなどの渓流魚の釣りが解禁になりました。当社の前を流れる船谷川では、早朝より、たくさんの釣り人が糸をたれていました。釣り人の間では、ここはかなり有名なスポットらしく県外の方も多数見うけられました。中には6：00から8：00の2時間で30匹以上も釣り上げた方もおられました。会員の皆様も是非チャレンジしてみて下さい。

釣り番組にでてきそうなお二人ですね！岡山からお越しの、左から金本様と猪頭様です。

米子市からお越しのF様です。ポーズが決まってナイスショット！

岡山県から来られたA様も満足の釣果！軽く30匹はいるんじゃないでしょうか？

ちょっと聞いてごしない！

近年、悪質リフォーム問題がよくメディアに取り上げられておりますが、このコーナーではその実態や対策を皆様にお届けできたらということでスタートいたしました。

この悪質リフォーム問題は、メディアで頻繁に報道されて一般的に認知されてきたので被害も減ってきているだろうと思いきや被害件数、被害額ともに年々増加しているそうです。

主な事例としまして住宅リフォームの会社員が屋根裏の点検を装って高齢者宅を訪問し、工事の必要がないのに、「屋根裏に湿気があり、カビが生えている。このままほっといたら柱が腐り屋根が落ちてしまうので金具を付けて補強しないと壊れてしまう！」などとうそをつき工事代金を騙し取ったりあれやこれやと巧妙な手口をつかってくるそうです。

私共コーセンの、「お客様の生涯利益の実現」とまったく逆の行為を平然とする人達がいるということは非常に悲しいことですが、少しでも悪質リフォームの被害を少なくするために、これからコーセンはピーライフ通信を通して、皆様に的確な知識とアドバイスをお送り致します。又、もし騙されかけたなど、実際に体験したという会員の方がおられましたら、ご一報くださいです。

聞いてごしなってだんだん！

この倶楽部通信に対するご意見・ご感想がありましたら、ご一報ください。今後の倶楽部通信にどんどん取り入れてゆきたいと思います

連絡先　コーセン・はっピーライフ倶楽部事務局
ＴＥＬ　０８５９－７５－２１２４
遠藤まで